

## 大垣商工会議所

機関名	大垣商工会議所		
所在地	岐阜県大垣市旭町 6 - 3		
電話番号	0 5 8 4 - 7 8 - 9 1 1 1		
地域概要	(1)管内人口 156 千人	(2)管内商店街数 450 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 7	(2)会員数 240 商店	
	(3)空き店舗率 -%	(4)大型店空き店舗数 0	
	大垣駅前商店街振興組合 他 6 商店街		
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. <u>地域型商店街</u> 4. 近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成 15 年度 コミュニティ施設活用事業（親子交流施設）

- ・ 商店街休憩所の設置
- ・ 休憩コーナー、ITコーナー、トイレ
- ・ 同施設において、リサイクルショップ、ミニコンサート、寄席等イベントの実施。

総事業費

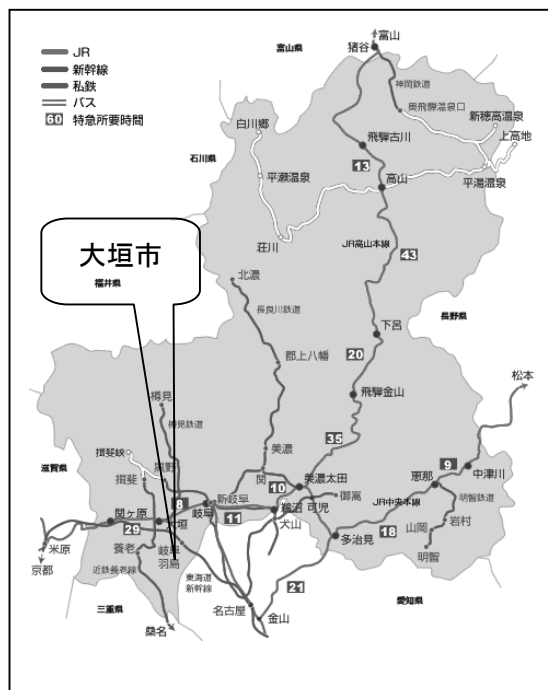
3,720 千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

岐阜県の西方、西濃地域に位置する大垣市は、良質で豊富な地下水に恵まれ、繊維、窯業土石、化学などの揚水型産業が発達し、JR 大垣駅を中心として、商業、交通、賑わい、交流、雇用など、さまざまな面で西濃地域の拠点としてその役割を担ってきた地域である。

しかし、近年、大垣市中心市街地もモータリゼーションの進展による購買範囲の広域化、郊外への大型店の出店、ロードサイド店の増加、中心市街地の定住人口の減少などの外部的要因、そして店主の高齢化、後継者難、営業意欲の低下、高地価等による新規事業者の参入難等の内部要因が加わり購買客の流出を生み、売上を停滞させている。このことはまた、中心市街地に空き店舗を生み出し、商



大垣市の位置  
(岐阜県観光連盟HPの図に加筆)

店密度を下げることから商店街としての魅力を失わせることとなり、更なる購買客離れを引き起こしている。

大垣商工会議所は、毎年中心市街地を対象に空き店舗調査を実施しているが、年々増加している空き店舗数は、平成 14 年の調査では 51 にのぼり、これは全体の 14.7%に相当する割合であった。上記の要因で空き店舗が発生するだけでなく、さらなる問題は「発生した空き店舗に新規テナントが入店しない」ことにある。その原因として賃貸意思のない商店が多いことや賃貸料が高いことがあげられる。たとえ賃貸の意思があっても賃貸料がテナント側の希望と大きく隔たるケースがあり、新規テナントが入居出来ない状況であった。こうした背景から大垣商工会議所は、平成 12 年度において中心市街地の空洞化を改善し、集客力を強化し、その活力低下に歯止めをかけるため、空き店舗対策モデル事業として「チャレンジショップ事業」を、また、関ヶ原合戦 400 年を記念して大垣市で行われた“決戦関ヶ原大垣博”に併せて「東西・と〜ざいフェスティバル」を開催した。これらの事業の目標は、中心商店街が結束して自らの力（資金と人材）を基に大垣市民と外部の人材を活かして、商店街への集客力を通年的に維持・発展させていけるイベントの企画とその実施に取り組んでいくことであった。

一方、大垣市においては、少子化や核家族化、都市化が進展したため地域の人間関係が希薄になり、家庭や地域における子育て機能の低下がもたらされていた。その結果、子育て家庭では、子育てに精神的な負担を感じるなど、子供の健全育成等への影響が懸念されており、乳児連れの親子が自由に交流できる場や子育て情報の提供、子育て相談への対応等が強く求められていた。また、中心市街地においてはマンション等の建設が進み、子育て世帯が増加して子育て支援の場作りが求められていた。そこで、平成 14 年度事業として中心市街地の空き店舗に多様な子育て支援機能を備えた総合的な子育て支援の拠点「大垣市子育て交流プラザ」を整備した。16 年度は、14 年度事業からの結果を踏まえ、更なる事業の検証を図るため継続実施した。



大垣市子育て交流プラザ

## 2. 事業内容

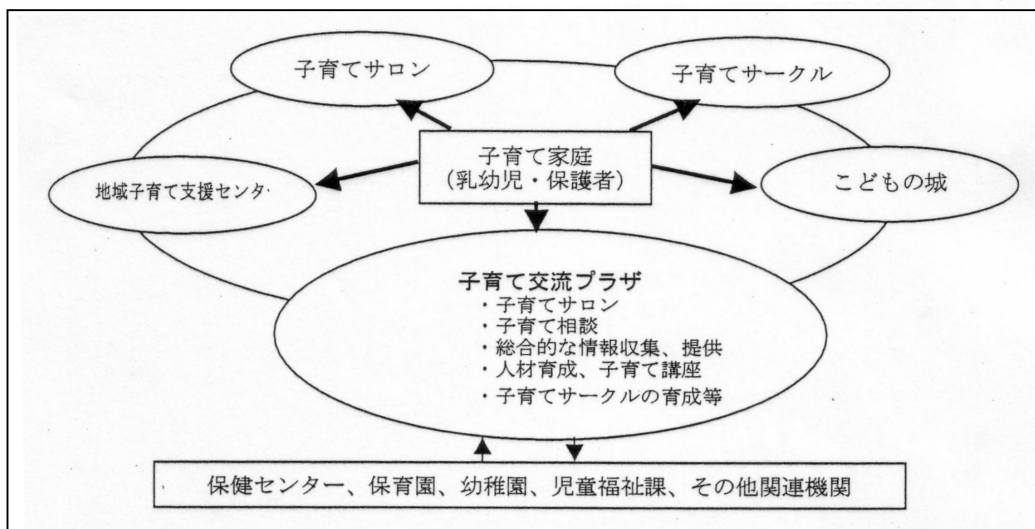
- (1) 実施主体：大垣市（施設の設置：大垣商工会議所）
- (2) 運営委託：NPO法人 くすくす
- (3) 子育て交流プラザの設置
  - ①開設場所：大垣市郭町 2 丁目 6 番地  
コミュニティプラザまちの駅 1 階
  - ②開設日時：平成 14 年 6 月 15 日オープン
  - ③開館時間：10 時から 17 時
  - ④休館日：毎週月曜日及び年末年始



くすくす内部

(4) 内容

- ①子育て中の親子交流の場（子育てサロン）
- ②子育てアドバイザー（常駐）等による子育て相談
- ③総合的な子育て情報の収集及び提供（ホームページ、パネル展示等）
- ④人材育成のための養成講座や子育て講座の企画・実施
- ⑤子育てサークルの育成、支援、連携



子育て交流プラザとその他子育て支援機関等とのネットワーク

(5) 実績

①平成 16 年度 子育て交流プラザ月別利用者数

項目 月	開館日数 (日)	利用者数(人)				新規登録 組数	子育て相 談件数 (件)
		大人	子ども	計	1日平均		
4月	26	348	454	802	31	37	20
5月	26	350	443	793	31	43	25
6月	26	435	544	979	38	38	24
7月	27	454	565	1,019	38	36	12
8月	20	340	418	758	38	31	12
9月	26	446	566	1,012	39	46	31
10月	26	430	509	939	36	46	27
11月	13	247	305	552	42	36	20
12月	23	296	364	660	29	20	30
1月	22	281	371	652	30	19	14
2月	24	325	395	720	30	18	20
3月	27	373	511	884	33	26	30
計	286	4,325	5,445	9,770	34	396	265
15年度計	296	4,413	5,193	9,606	32	385	274

## ②子育て講座

	参加者数 (保育定員)	講演テーマ	講師
第1回	22名 (10名)	「子どもたちのおかれている状況」	短期大学 教授
第2回	103名 (20名)	「おひさまランドセル」	漫画家
第3回	35名 (10名)	「子どもからのおくりもの」	絵本作家・高校非常勤講師

## ③子育て支援者養成講座

	タイトル 参加者数	講演テーマ	講師
第1回	「子育て支援とは？」 18名	大垣市における子育て支援の状況、取り組みの説明。 子育て支援の現場で子どもと共に楽しむ遊び方の実践。	市子育て交流プラザスタッフ
第2回	「子どもの発・発達、緊急時の対応について」 18名	子どもの発育・発達の基礎知識を習得し、とっさの事故等に対応できるように知識、スキルの向上を図る。	助産所主宰者
第3回	「sos の現場から」 20名	SOS の現場から見えてくる子ども・その親をとりまく現状について	岐阜県中央子ども相談センター 所長
第4回	「親・子の心に寄り添うとは・・・」 18名	きちんと人の話を聞く、という「傾聴トレーニング」の体験	短期大学 名誉教授
第5回	ワークショップ 13名	ゲームをやりながら、「育てる」ということを考える。	子育て交流プラザスタッフ

## ④その他の活動

活動名	開催日	内容
相談業務	随時	子育てアドバイザーによる相談は随時 助産婦等による相談も週1回
子育て相談	月1回 第1土曜日	地域有識者による個別子育て相談
お楽しみイベント	月8回	絵本の読み聞かせ、手遊び、工作、体操等
ベビーマッサージ	月2回	助産師による指導
Let's 歯磨き	隔月1回 15時～16時	歯科衛生士による歯磨き指導と歯の相談
おもちゃのお医者さん	毎月1回 (土曜日)	ボランティアによるおもちゃの修理
ミニプラザまつり (まるごとバザール協賛)	11.21(日)	キャラ祭り、おでんの販売、野菜の販売

⑤子育て情報

名 称	内 容
ホームページ(アドレス) http://www.ogaki-tv.ne.jp/~kosodate	プラザの毎月のスケジュールを掲載 各種催事の掲載と募集 「プラザだより」の掲載 メール相談の受付
携帯電話配信サービス	登録者の携帯電話へのプラザのイベントを配信
施設内の掲示版	各種子育て情報の発信 利用者の情報交換 商店街からのお知らせ等

【 効 果 】

1. 来街者の行動

これまで中心商店街になかった「子育て支援」という新たな機能を付加したことにより、子育て中の若い世代が市内各地から（一部市外からも）集うようになり、僅かではあるが、賑わいづくりに効果があった。

2. 近隣個店への波及

当施設利用者が昼食、おやつ、飲み物等を近隣のコンビニエンスストアで購入するようになった。また、当施設を利用するようになったのを契機に、近くのスーパーや百貨店、食料品店に立ち寄るようになり、一部の業種についての波及効果があったものと思われる。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 行政からの支援

当施設の運営委託先であるNPO法人の運営基盤を強化するとともに、将来にわたり利用者のニーズを的確に捉え、事業内容を改善・充実していくために、行政の継続的な支援が必要である。

2. 施設老朽化対策

当施設は空き店舗を借り上げて開設しているものであるが、建物や施設が相当老朽化しており、これに起因する障害がたびたび発生する。そのたびに設置者が障害を取り除いたり、復旧したりする作業に追われ、また予期せぬ出費が発生する。そのため、より条件の良い建物への移転の必要性に迫られており、適当な物件の確保と移転に伴う予算措置が必要となっている。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

事業運営の委託先もしくは協力者選びがポイントになる。本事業では、資質、能力、熱意等が十分なスタッフを擁するNPO法人に運営委託したことが成功につながった。一方では、当施設を取り巻く商店街との連携が思うように進まず、商店街への波及の点で十分な成果を得ることができていない。従って、事業実施にあたっては、地元商店街をはじめ関係団体等との良好な協力関係を構築するための工夫が必要である。

【 関 連 U R L 】

大垣市子育て交流プラザ <http://www.ogaki-tv.ne.jp/~kosodate>  
大垣商工会議所 <http://www.ogakicci.or.jp/index/html>